

J R サービス労働組合

ジャストニュース

No. 89

2025年10月27日

J R サービス労働組合

発行責任者 柳楽 関

本社幹部が激怒！

JS 労【何でも相談窓口】に届いた一通のメール

10月23日、JS 労に以下のメールが届きました。その全文を紹介します。

新大阪第二事業所「介助職場」だけが金の使い過ぎだ！

お疲れ様です。私は名前を明らかにできませんが、サービス会社の社員です。日頃から JS 労の活動に注目しながらジャストニュースを SNS で読んでいます。素晴らしい会社になりたい思いで投稿しました。

先日、本社幹部が営業部長と新大阪第二事業所長に対して、「新大阪第二事業所の介助職場だけが金の使い過ぎだ」と叱責したようです。詳細は言えませんが、事実です。

万博開催期間中の社員の頑張りを足蹴にする行為は、社員の士気を下げるだけです。是非、JS 労さんの活動に活かして下さい。

要員確保が会社幹部の責務だ！

新大阪駅では、大阪・関西万博の開催により、開業以来最多となる乗降客数 28 万 9 000 人／日を記録しました。JR 東海から業務委託されている新大阪第二事業所の介助、遺失業務においても乗降旅客が大幅に増えたことから、介助業務では、案内件数が 150 件を超える日が続き、遺失業務においても 800 件を超える日もあり、深夜帯で超過勤務が連続して発生していました。その様な中、現場で働く社員は、要員不足を補うために超過勤務や休日出勤に協力し、休憩変更なども対応して、過酷な労働環境、酷暑の中で懸命に働いてきました。

そんな現場で働く社員の実情を知らずに、ただ単に「お金の使い過ぎだ」と叱責されたら、投書にも書かれていますが、社員の士気は下がるのは当然ではないでしょうか。

要員不足のため、超過勤務や休日出勤が発生するのは当然のことで、お門違いの経費節減を部下に叫ぶ前に、要員確保をすることが会社幹部の責務ではないでしょうか。

JS 労は、皆さんからの声を聞き、会社にもものを申していきます。

メールアドレス・ jsrou@yahoo.ne.jp

